

第3回 第2期練馬区スポーツ振興基本計画策定懇談会 開催記録

■日時 平成25年11月5日(火) 18:30~20:10

■会場 練馬区役所本庁舎 19階 1905会議室

■出席者 (委員 13名 敬称略)

早稲田大学スポーツ科学学術院准教授	作野 誠一
筑波大学大学院人間総合科学研究科体育科学系教授	柳沢 和雄
公益社団法人練馬区体育協会	石川 正子
練馬区スポーツ推進委員会	石塚 利郎
総合型地域スポーツクラブ	茨田 忍
練馬区レクリエーション協会	牧 真一
練馬区立中学校 PTA 連合協議会	青柳 直美
練馬区町会連合会	岡村 宏平
公募区民	鎌田 康男
公募区民	長井 詳典
公募区民	古尾谷 均
公募区民	宮崎 英孝
公募区民	山中 康弘

(練馬区区民生活事業本部 スポーツ振興課)

地域文化部長、スポーツ振興課長

(練馬区スポーツ振興基本計画策定懇談会事務局)

スポーツ振興課職員 2名

(支援事業者)

株式会社創建 2名

■欠席者 (委員 5名)

練馬区立中学校校長会	赤木 宏行
練馬区立小学校校長会	早川 一秀
練馬区小学校 PTA 連合協議会	柁 博光
練馬区老人クラブ連合会	重田 栄
練馬区障害者団体連合会	の野 碩郎

■傍聴者 なし

- 議 事
- 1 練馬区スポーツ推進ビジョン（仮称）（素案）
 - 第1章 ビジョンの概要
 - 第2章 練馬区の現状と課題
 - 第3章 基本的な考え方
 - 第4章 ビジョンの実現に向けて
 - 施策体系1 スポーツのための場の整備
 - 施策体系2 スポーツへの参加機会の充実
 - 施策体系3 スポーツを推進するための人材と組織の充実
 - 施策体系4 スポーツに関する情報やニーズの把握と活用
 - 施策体系5 スポーツが持つ力の地域への活用
 - 第5章 推進体制と評価
 - 2 その他
 - (1)次回の懇談会の日程等
 - (2)その他

- 配布資料
- 練馬区スポーツ推進ビジョン（仮称）（素案）【修正版】
第5回策定委員会（11月1日）の意見を反映した素案の修正箇所

■要 旨

1. 練馬区スポーツ推進ビジョン（仮称）（素案）

－第1章について－

（座 長）事務局に説明を求める。

（事 務 局）第1章について説明。

（座 長）意見等はあるか。

（委 員）前回策定時と比べて、策定の趣旨やスポーツの意義が詳しく書かれているのでよいと思う。内容についてもよく理解することができた。その上で、P. 1の策定の趣旨の部分について、「スポーツの新たな価値」の「新たな」という表現は削除した方がよい。「計画期間が終了することにより」は、「計画期間が終了することから」とした方がわかりやすい。P. 2の「子どもたちの体力の低下」の部分について、「改善しつつありますが」は、「改善されつつありますが」の方がよい。P. 3の「スポーツの力を地域の活性化する考え方」は「スポーツの力で地域を活性化する考え方」に訂正してはどうか。修正するかどうかは事務局の判断に任せる。

（委 員）P. 6の図の中の「ビジョンの全体像」は、「ビジョンの構成」ではないか。

（事 務 局）ご指摘のとおり、「ビジョンの構成」に修正する。

（委 員）第2章の見出しについて、「3. 指導者に関する現状」と「4. 団体に関する現状」は、それぞれ「3. スポーツ指導者に関する現状」と「4. スポーツ団体に関する現状」にした方がわかりやすいのではないか。

（委 員）P. 1の策定の趣旨の中で、初めて「ビジョン」という言葉が出てくる。今回は第2期練馬区スポーツ振興基本計画を策定することだったと思うが、策定の趣旨の中で、練馬区スポーツ振興基本計画との関係性について説明がなくてもよいか。どのような理由から「ビジョン」という考え方を取り入れたのかという説明が必要ではないか。一般的には、基本構想や目標がなければ、ビジョンとは言わないと思う。

（事 務 局）今回策定する計画は大きな方向性を示すものであることから、第2期練馬区スポーツ振興基本計画として、ビジョンを作っていきたいと考えている。こうした補足を策定趣旨に記載する方向で考えたい。10年を目途にビジョンを進めていきたい。

（委 員）第1期練馬区スポーツ振興基本計画が5年の計画期間であったことを踏まえると、第2期も5年と考えられるが、今回、10年と倍増した考え方も触れられるとよい。

（座 長）国の計画期間が10年であることから、それに準じていることはビジョンの中に記載されているので、新たな説明の追加は不要ではないか。

（委 員）基本計画を1期ごとに作っていく必要性はP. 1の策定の趣旨の最後の部分にはっきりとうたわれている。第1期計画との関係性のみには焦点を当てるのではなく、国の計画や他の計画、2020年のオリンピック・パラリンピックの開催など、様々な動きの中での今回の計画という考え方でのよいと思う。一定の目途として、計画期間を10年で設定していることもビジョン（素案）の文章の中から読み取れる。

（委 員）10年経たないと見直さないのかという印象を持った。中間評価はやらなければならない

ない。5年後に中間評価をするなど、具体的に明示してはどうか。

(座 長) ビジョン(素案)のP.41に記載されるとよい。

－第2章について－

(座 長) 事務局に説明を求める。

(事務局) 第2章について説明。

(座 長) 意見等はあるか。

(委員) P.7の冒頭に「区民の57.1%」とあるが、何の57.1%なのか。例えば、「平成25年7月に実施した区民意識調査の結果から」というように補足が必要ではないか。

(事務局) 補足をする。

(委員) P.7の(1)区民の体力の現状の部分で、「32.1%から42.9%へと、若干増加しています」という記述があるが、若干という表現が適切かどうか。事務局で判断してもらえればよい。

(委員) P.23の(5)スポーツと地域との関わり方の視点において、地域福祉という視点でスポーツをやっている人も多い。地域福祉への協力という形での障害者施設への訪問などを取り入れてもらえないか。

(座 長) 委員のご指摘については、施策の審議の際に改めて発言をお願いしたい。

－第3章について－

(座 長) 事務局に説明を求める。

(事務局) 第3章について説明。

(座 長) 意見等はあるか。

(委員) スポーツ医科学についても触れられるとよいと思うが、いかがか。

(座 長) スポーツ医科学の扱いについては事務局で検討してほしい。

(委員) P.25の数値目標の中で、週1回以上スポーツを行う成人の割合の現状値が55%とあるが、統計をとったときの回収率はどれくらいか。

(事務局) 3,000件配布して1,123件の回収なので3割強である。

(委員) アンケートに回答した方は、積極的にスポーツを行っている人であると思う。このため、70%以上を目標値にするのは適当か。

(委員) スポーツという意味には散歩なども含まれるので適当ではないか。

(座 長) スポーツの定義については、P.5に記載されているとおりである。アンケート調査も、スポーツの定義を示した上で回答してもらっているので問題ないと思う。

－第4章・施策体系1について－

(座 長) 事務局に説明を求める。

(事務局) 第4章、施策体系1について説明。

(座 長) 意見等はあるか。

※意見なし

－第4章・施策体系2について－

(座 長) 事務局に説明を求める。

(事務局) 第4章、施策体系2について説明。

(座 長) 意見等はあるか。障害者の「害」は平仮名と漢字のどちらを用いるか。

(事務局) 担当課に再度確認する。

(座 長) 先ほどの発言にあったスポーツ医科学を入れるとしたら、施策体系2の冒頭の部分か。

(委 員) 実現性も含めて事務局で検討してほしい。

(副座長) P.30に「武道の指導における外部指導者の活用促進」と書かれているが、指導しにくい種目に対して外部からの指導者を招いて指導を充実していくことは必要である。だが、武道だけでよいか。東京都が、外部指導員を活用する「武道・ダンス」モデル事業をやっているので、ダンスを加えてもよいのではないか。例えば、「武道やダンス等の指導における外部指導者の活用促進」とするか。

(事務局) 入れる方向で検討する。

(委 員) P.30の(1)②中学校運動部活動等の支援に書かれているのは、部活動のことか。2つのことが一緒に書かれているが、「武道の指導における外部指導者の活用促進」は、部活動とは別のことではないか。

(事務局) 「中学校運動部活動等」の「等」の中に、部活以外の場面を含めている。

(委 員) 中学校の部活動の現状は学校によって異なる。授業に外部の指導者は入らないので、もっとアバウトな記述にした方がよい。

(座 長) 体育活動等としてはどうか。

(事務局) 記載の仕方については検討する。

－第4章・施策体系3について－

(座 長) 事務局に説明を求める。

(事務局) 第4章、施策体系3について説明。

(座 長) 意見等はあるか。

(委 員) スポーツ指導者バンクは、練馬区になかったのか。

(事務局) これまでも同様の取り組みはしていたが、新たにスポーツ指導者バンクとして設置していきたいと考えている。

(委 員) P.34に小・中学校を対象とした研修会を開始するとあるが、中学校は専門の先生で成り立っていると思うが、専門の先生に対して研修を行うのか。

(事務局) そのように考えている。

(副座長) 「支える」と「ささえる」という表記があるが、統一してはどうか。

(事務局) 平仮名で統一したい。

－第4章・施策体系4について－

(座 長) 事務局に説明を求める。

(事務局) 第4章、施策体系4について説明。

- (座 長) 意見等はあるか。P37 (2) ②の懇談会は、現行の懇談会をイメージしているのか。それとも新しいものか。
- (事 務 局) 総合体育館の懇談会等、重要なテーマに対して設定する懇談会である。
- (委 員) スポーツ振興課だけでなく、健康づくりを担当している部署などもある。スポーツの指導員もあれば、健康のための指導員もある。区の中の縦割りをなくして、このビジョンの中に様々な取り組みを取り込んでいけるとよい。
- (座 長) 他の部局がやっている情報も集約してほしいという意見であると思う。
- (事 務 局) P41に記載しているように、庁内各課との連携は全ての施策でやっていく考えである。
- (副 座 長) 委員の発言を受けて、P36 (1) ①の文章の冒頭に、「区の実践はもとより、」と追記してはどうか。
- (事 務 局) そのようにしたい。

－第4章・施策体系5について－

- (座 長) 事務局に説明を求める。
- (事 務 局) 第4章、施策体系5について説明。
- (座 長) 意見等はあるか。
- (委 員) 地域福祉への協力という内容が入れるとよい。
- (座 長) 事務局は検討してほしい。

－第5章について－

- (座 長) 事務局に説明を求める。
- (事 務 局) 第5章について説明。
- (座 長) 意見等はあるか。
- (委 員) 10年経ったときに数値目標が70%に達しなかったではいけないので、「2. 評価と見直し」の中で、中間評価等を実施するということを追記してはどうか。
- (座 長) P39の最後に「スポーツ関係団体やスポーツ指導者と地域団体等との協力・連携」という記載があるがよいか。

※意見なし

- (委 員) 少年野球の指導に長年携わっている。その中で感じるのは、運動をする子としない子の2極化が生じており、子どもたちをいかに運動の場に引っ張り出すことができるかが課題になっていることである。地域の中でスポーツの場所を提供していかなければならない。そのためには地域の協力が不可欠である。
- (委 員) 第1期計画では、計画を確実に実行するために、プロジェクトという形で実行性を高めていた。今回はどのように考えているか。
- (事 務 局) 今回は重点プロジェクトという形はとらず、全てが重要であるとの認識のもとで推進していくという考え方をしている。
- (座 長) 本日の意見をビジョン（素案）に反映するよう事務局で調整してほしい。

2. その他

(事務局) 12月を目途にパブリックコメントを1カ月間実施する。次回の懇談会は2月を予定している。そこでビジョン(案)を提示する。

(座長) パブリックコメントに出す資料は委員に配布してもらえるか。

(事務局) 配布する。

以上